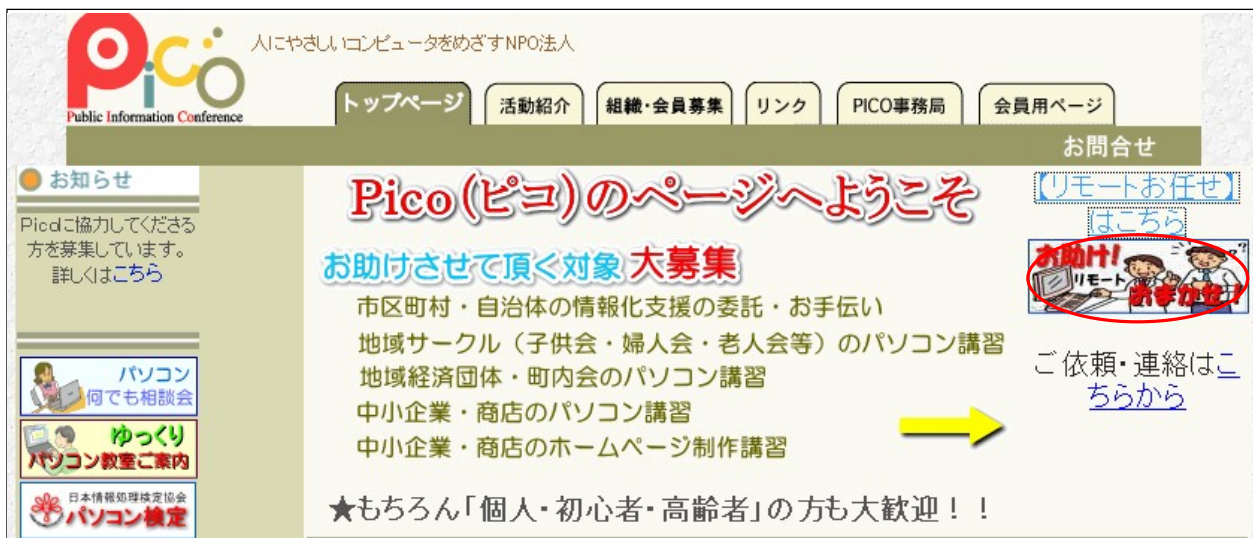


PICO リモート支援システムクライアント操作ガイド

- 1 会員登録した支援団体のトップページにある **リモート支援要請ボタン** をクリック



- 2 下図に示すセキュリティの警告画面が表示されたら「実行」ボタンをクリック



3. 右図の **接続画面** が表示されたら、オペレータから通知される **セッションコード** を入力し「接続」ボタンをクリック

セッションコードとはオペレータがリモート支援システムにログインして取得する番号で、その番号を電話等で通知されたクライアントとオペレータの両者のコンピュータを相互に接続する役割を担う。1つのセッションコードは1回の接続にのみ有効な番号で、接続ごとに異なる番号です。

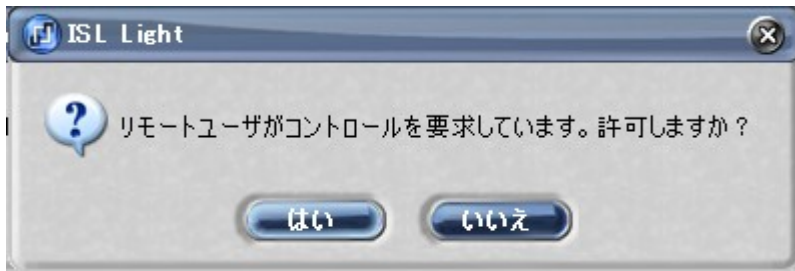


以上の操作で右記の画面が表示されて、クライアントの画面がオペレータに見えている状態（デスクトップ共有状態）になります。しかしリモートコントロールは許可状態ではないので、オペレータがクライアントのコンピュータを操作することはできません。したがってこの状態ではクライアント自身がコンピュータを操作し、必要に応じてオペレータが音声等で操作の説明をすることになります。

オペレータがクライアントのコンピュータを操作する必要がある場合は、オペレータがクライアントに対して **リモートコントロール** の許可を求め、クライアントがその要求に対して許可することでリモートコントロールが可能となります。（操作は次ページ）

リモートコントロールが許可された状態では、クライアントとオペレータの双方がクライアントのコンピュータを操作ができますが、同時に操作しようとした場合はクライアントが優先されます。（クライアントがマウスを操作すると、5秒間オペレータは操作できなくなります。）





オペレータがコントロールの要求をするとクライアントの画面に左図が表示されます。「はい」をクリックすると、リモートコントロールが許可され、オペレータがクライアントのコンピュータを操作できる状態

(リモートコントロールモード) になります。

デスクトップ共有状態では、クライアントの画面上部に下図のごとく「コントロールツールバー」が表示され、これ操作することで、クライアントはいつでもリモートコントロールやデスクトップ共有を停止したり、再開したりできます。



このボタンをクリックすることで、デスクトップ共有の停止ができる。

このボタンでリモートコントロールの停止/許可の切り替えができる。(停止中は「コントロール許可」ボタンになる)

どちらにコントロール権があるかを示しており、クライアントがマウス等を操作すると「ローカルユーザがコントロール」と表示される。

下図のいずれかのボタンをクリックすることで、いつでもリモート支援を終了することができます。

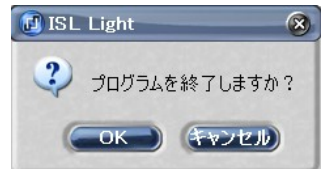
セッション終了ボタンです。これをクリックすると下図が表示されます。



「OK」ボタンをクリックするとセッションが終了し、接続が解除されます。そして上述した接続画面が表示され、新たな接続ができる状態になります。



プログラム終了ボタンです。これをクリックすると下図が表示されます。



「OK」ボタンをクリックするとプログラムが終了し、接続が解除されます。

上記いずれのやり方でリモート支援を終了した場合でも、右図のごとくの画面が表示されることがあります。この場合リモート支援を受けた結果の感想等のコメントを入力して「Send」ボタンをクリックしてください。お送り頂いたコメントはリモート支援を運用している管理者に届き、今後の支援のあり方の参考にされます。

